

	進取の気概 (校長室だより)	有田市立箕島中学校 自主 友愛 剛健	R4・6・3 No.13

読解力とは、「文章を読んで、その内容を理解する力」のことです。下の問題は読解力を測ることができる問題です。やってみましょう。

① 以下の文を読みなさい。

色やにおいて引き付けられた動物は、おしべの花粉を体につけ、別の花のめしべへと運び、植物の受粉を助ける。

この文脈において、以下の文中の空欄にあてはまる最も適当なものを選択肢のうちから1つ選びなさい。

植物の受粉を助けるのは()である。

- ①花粉 ②動物 ③おしべ ④めしべ

超難

② 以下の文を読みなさい。

日本の面積は、約3800万haです。1990年から2010年の間、毎年世界全体で失われた森林の面積は、日本の面積の約18%にあたります。

上記の文に書かれたことが正しいとき、以下の文に書かれたことは正しいか。「正しい」、「まちがっている」、これだけからは「判断できない」のうちから答えなさい。

1990年から20年間に、日本の面積の3倍以上の森林が世界全体で失われた。

- ①正しい ②まちがっている ③判断できない



長い文章を読んで、「その文章で結局、筆者は何を言いたいのか」、筆者の最も伝えたいことを明らかにし、自分の言葉で短くまとめて表現することを「要約」といいますが、

これまでのテストの結果をみると、「要約」をはじめとした読解力に関係する部分を苦手に行っている人が多いということが分かってきました(私も読解力の問題が苦手です…)

読解力はテストのためだけでなく、みなさんが生活していく上で非常に大切で必要となる力です。例えば、周りの人とのコミュニケーションの中で、相手の置かれている状況やうれしいとか悲しいとかといった感情など、相手が伝えたいことを正しく理解するためには読解力が必要です。また、ネット上などにある情報について、それが本当なのか嘘なのかを見抜いたり、発信者がどういうつもりでその情報を発信しているのかを読み解くためにも読解力は必要です。このように、読解力は日常生活のさまざまな場面で必要とされる力です。しっかりと身につけてほしいと思います。

そこで、読解力UPのために週に2日、朝学の時間を利用して、取組を進めていきます。新聞記事を読んで、問題に答えていくという取組です。すべての教科の勉強に役に立ち、みなさんの将来にも必ず役に立つ読解力、根気強く取り組みましょう。

